とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	7月29日（火）
クラス名（年齢）	ひよこ組（0歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

水遊び

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

手洗いをする際に、水に触れると、水道から離れたがらない様子があり、水に興味があることが分かった

2、活動スケジュール

朝のおやつ後に水遊びを楽しむ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

たらい、じょうろなどの水遊び玩具、ござを用意する。シャワーの温度確認を行い、温水や冷たい水など用意する

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

初めは、温水から触り、次第に冷たい水にも触れ、水の感触や冷たい気持ちよさを体験する

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
たらいやユニットサーフのくぼみに、ぬるま湯を入れておくと、自分からそっと手を入れてみる子どもがいた。すぐたらいに入って遊べる子どは、たらいの中で足を動かし、水を蹴るようにして水の感触を楽しんでいた。シャワーがたらいの水面に当たる様子を見て、興味深く見ている子どももいた。水を触るうちに楽しくなってきて、笑顔を見せたり、シャワーの感触にも興味を持って手を出して浴びて楽しんだ。冷たい水を桶に入れて渡すと、気持ち良さに気が付いて笑っていた。保育者の表情も良く見ていて、驚いた表情をすると、同じように驚いた表情になったり、笑ったりして、保育者と一緒に楽しむことができた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

初めは保育者がたらいの水に手を入れて見せ、自分から水に触れたり、ユニットサーフのくぼみにつかまりながら触れることができるようにするなど、楽しそうな環境を作り誘ったり、大胆にたらいに入れる子どももいたので、誘い方も一人ひとりに合わせて行った。楽しい気持ちから興味関心を引き出せるようシャワーやじょうろの水に手を出したり、無理なく行うことで、安心を感じ笑顔が増え、一人ひとりの興味に合わせてじっくり楽しむことができた。